

# 保育叢話

藤園女

## ▲雇人より受くる悪感化

子供を持たるゝ家庭では書生下女下男車夫などすべて他人を雇入れて我家の一員とする際に充分の吟味が大切である事は今更申すまでもない事でありませぬ。

私共の下女は大變によく働くとの評判で皆様からほめられますので喜んで居ります。しかしあまり教育のない田舎育の事で御座いますから、缺點も澤山ありまして子供に悪影響を與へる事も大變に御座います。

或時屑屋に樽など拂はさせまして三四十錢ばかり

り戸棚の口の方におかさしたのを失念して居りました。夕方になりまして二十錢銀貨が必要で御座いますのでフト思ひ出して行つて見ますと影も形も見えませぬ。下女に聞きましたも子供に聞きましても皆知らぬと申します。多分何かの拍子にンコラに轉がつてあるのであらうと存じました。しかし其儘には心がすみませぬので毎日戸棚を探し大掃除する様に隅から隅まで探しましたけれど一向見當りませんので不思議に思つて居りました。二三日経ちまして長男がタコ糸を澤山持つて居ると聞き及びましたからすぐ長男の机を調べますと成程買與へないタコ糸を澤山仕舞つて居りますこゝに悲しくも長男が無断で持ち出したことは事

實となりました。

歸る間遅しと待つて居りますと午後三時頃、只今しと威勢よく歸りました。私はすぐ呼び入れて椅子に寄せせました不安の目をキヨロ付かせながら待つて居ります。

私は口惜しいやら、情ないやら胸が一杯になつて居りますのをヤット鎮めまして、あのタコ糸はと詰問しました。最初は我が家の門前で拾ひしとか色々申して居りましたがシドロモドロの答は次第に曖昧になりました。

私は覺えずゲンコを振擧げて頭をビシリと打ちました。ア、情ない、お身は何の爲めに學校にいつて居ますか。平素お父さんから何を聞きましたか、なせかゝる不都合をするかその上に其を掩ふ愚を爲すかと血の涙と共に責めました。

櫻樹を削つたワシントンの話や、大賊になつた人の話や二時間ばかり囁んでふくめる様に聞かせ

ましたので、長男は涙をこぼして詫びました、どうして許して下さいと涙を流した位で私の心が納得出来ませう。此上は御身をハダカにして門外に出し飢餓に迫らせんと申しますと、苦痛を非常に感じましたと見えまして、大聲を擧げて悲泣し絶え入るばかりに許してをつけました。

早速學校の受持の先生にも申上げて御注意を願ふ事にいたしましたでしたが以來はかゝる行爲はいたさない様になりました様で御座います。

何故か長男は下女に接近したがります、常に下女室に入りたがります。之れは多分一はなまけるに都合がよい爲でありませう、たとへば一寸水を要する場合にもデットして、水を持つて來て呉れと命じますとすぐ持つて來る、若し私共に頼みましても御身自ら水道に行つて持つていらつしやいとハネ返します上にお小言位頂戴するので一は便利上、一は又何をしても叱られない心がラク／＼す

るといふ様な點からでも御座いませう。

其の子供の接近したがる下女の人撰はいつもおこたりませんが、其れでも無教育な野育ちで御座いますから、いづれも缺點があるので御座います。

一寸例を申しますと、硝子でも破はします、正直に詫をする事を厭うて却つて之を内密に附し去りたがるのであります、いつかも皿が不足しますから、アノお皿はと聞きますと、どうですかドコカに入つて居るのでしようといふ氣なく答へる、眞二つになつて塵箱の中に捨てられてあつたのを私が認めし事も知らずで。ランプをメチャ／＼に破す其音によりて私は承知せりとも知らずに、ランプヤに密に注文して整へておくといふ風で、たとへ過失なり故意なり悪事をしても其れが現はれさへしなればよいと心得て居ります。

目敏い子供は多分常に接近してかゝる行爲を會得するのでありませう、悪事をしても知れなければ、それですむといふ様な淺い／＼考からドシ

ドシ欲しい／＼と思ふタコも之れで澤山求めらるゝと合點して私の目をかすめたのではあるまいかと思ひます。

素より下女とても其の缺點を矯正する様に或は夜間勉強する時間とか時を見て訓戒いたしますが二十年來染み込みし悪風は、一年や二年では根治する事は出来ませんから、出来得る限り子供を近づけない工夫をするより外ありません。

## 二

彌生とは申しても今日は朝疾くより白雪紛々しいやが上にも積つて居ります、火鉢に熾に火をおこしても、五十六度の温かさですから、折角快方に向きました子供を又ふりかへしてはならないと八疊の温室に閉ぢ込めました。

いつも齒をみがかせますのに、私自分が揚子、鹽、水、金盥と持つて來て世話するので御座いま

すが、今日は赤坊に哺乳させて居りますので六歳になる女兒に其世話をする様に言付けました、一體此の女兒はふだんから勝氣でよく幼児の世話をいたします。毎日二時間位は負や抱子をして赤坊を遊ばせますが今日は何故か揚子を持ち來れと命じましたのに、揚子も鹽も何も角も持つては來ましたが、他の兒が私に頂戴と申しても渡さないでヤツカイで仕様がないと大人らしき小言をこぼして居るのであります。

僕に鹽を、私に水をと請求する子供に向つて、イヤにすまして、ア、ヤツカイな事だとて中々與へません、他兒は泣く程せがみます、私は六歳の女兒の行爲の變に思はれて、且ヤツカイなど言ふ事の耳障りになりました、何がヤツカイですか仕事をするのに、ソナ事を言ふものではありませんよ、ソナ事を言ふ様では働あるよいお嬢様にはなれないと戒めました。

幼児を托すべからざるものは他人であります、ヤツカイなど申して世話をするのを厭ふ風の見えたのは、臺所で洗物して居た下女の感化であります、一寸鹽を取つてやる揚子を出してやる、何でもない事の様ですが、考なき下女風情の面倒臭いといふ心をすぐに、子供に鹽など渡しなから「ヤツカイ」だとこぼす、何も知らぬ幼児は又其の真似をして、他の弟妹に意地悪く渡す、弟妹は泣ながら請求する。

世間には幼児の世話を面倒がりて種々の名目の下に子守や下女風情に委託して少しもかまはない人がありますが、其の結果は如何で御座いませうか、前陳の如き少しの悪感化が此雪の積る様に積りまして、其子の將來の運命に大關係を及ぼすのでは御座いますまいか。』

### ▲子守は必ず母親がすへ

## きもの

此事もかつて申述べました事がありますが、どうしても自分の大事な大事ないとしの子供は、母親が常に怠らず監督すべきものではありますまいか、家々によりまして必ずしもそう出来ない職業の人も随分多いでしょうが、之等は已に子供に不幸であり、一家の不幸であります子供を子守に托して、種々悪い感化を受けて將來不幸の種を蒔いた實例は目に見えると思ひます、どうしても國家の損害であらうと思ひます、どうしても出來得る限り他の仕事は人に托しても、第二の國民となるべきいとしの子は母親の手で育てらるゝが至當であります。

私も實は最初から四人までは他人に預けたので御座います、三男と三女とは専ら私の手で生育しつゝあるのであります、下女或は他人に托した子

供は已に幼き芽の頃より曲りがつきました、無邪氣な所が少くなりました、父母の面前と否とをよく分けて、かけて悪戯をいたします、之等は普通の事ですが、誰れの眼にも立ちますのは、末の二兒の面白い事であり、實に面白い、見る人毎に面白い可愛らしいものとして、一家笑の種にされます、誰れを見ても笑ひます、少しの曲りもなければ、僻もない、いつ見てもニコ／＼して居ります、子供嫌の青年が宅に一人居りますが、それさへ此二兒をばアヤさすには居られません、いつも相手にして嬉しがつて居ます、何といふ可憐なもので御座いませう。

そして當年三歳の女子は、實に人真似をよくいたします、他の兄弟が齒を磨けば廻らぬ手で其真似をいたし、衣服を更めますと、着物を更へてと箆箆に手をかけ、禮儀をすれば其の通に、一舉手一投足皆之れ認めると真似をして居ります、以心傳

心とでも申すの加、愛兒が誤つて大小便を洩らせ  
し場合、其他幼兒にも悪い事が知れる様な場合、私  
が之を叱責いたしますのに、幼兒はすぐ私の心理  
状態を看破いたします、いかに烈しく叱責しまし  
ても私の衷心が眞に愛兒を憎しと思はざる時は愛  
兒は余り泣きません、泣きましても穩であります。  
之を他人の手に預けますと、両親の眼のある間  
は兎も角、之を叱責する子守の心中には何等の愛  
情も、温かな所もありません、少し叱りましても  
子供は泣きます、烈しくなれば絹を裂く様な聲を  
絞つて泣く事さへあります。  
慈母の手にさへあれば、病氣の外は大抵、花笑  
ふ様な幼子も、冷たい他人の手に渡されますと色  
々すねたり、くねつたり、つむぢ曲りになるので  
あります、しかも子守等の悪い眞似をよく覚えま  
して、將來の禍根を貽す事があります、  
私共の長女は色々の女中に預けましたが、いつ

も人撰は疎にはいたしません、それでも之はと  
思ふ様なのは少ない爲めに種々悪い感化も受けて  
居りますが尤も目立ちますのは、食後料理の殘も  
のを皆自分のお皿に集めるのであります、そして  
それを食べるのであります、私の手で世話をする  
様になりまして其非行を矯正しますのに中々骨が  
折れました、コンナ一寸した事は一言訓戒すれば  
すぐ治る様に思はれますが決してそうでありませ  
ん、一度習慣になつたものは中々脱けるものでは  
ありません、又かゝる事柄は六ヶしといふても正  
すに余り困難でもありません、せうが、目に見え  
ぬ、悪風は中々に矯正の術なくあつても難事であ  
ります、之等は只一例に過ぎませんが、いづれの  
點より見ましても、子供は他人の手に預けるもの  
でなく、母親自身で萬事の世話をするのが是もよ  
い方法であります、